

富士精版印刷 株式会社

印刷トラブルの削減と短納期化で競争力を強化



デジタル検版システム



制作物の例

事業内容

品質を支える検版作業

同社は総合印刷会社として企画、デザインから製本まで印刷における一連の作業を受注している。そこでは印刷の前段階において、印刷に使用するデータが顧客の要望に基づくさまざまな手直しを、正しく見本通りに反映されているかの確認（検版作業）を複数の作業者が長時間携わってきた。

熟練度が求められるアナログ検版

これまでの検版作業は、人の目によるアオリ検版（2枚の紙を重ねて見比べる手法＝アナログ検版）で行われてきた。このアナログ検版は作業者の熟練度や疲労度によって検査の品質にムラが起こり、作業終了までの時間にも個人差が出ていた。検査の速度と品質が両立せず、顧客からの納期を急ぐ要求に急かされるようにして、作業を焦ったことによる見逃し事故も発生していた。

補助事業

両立困難な速度と精度

そこで、印刷会社として競争力を強化するためには、高品質かつ短納期の顧客要求に対応する体制の構築が必要であり、人の作業では相反する速い速度と高い精度を同時に実現するため、新しい技術の導入が求められていた。

複合的な品質管理フローを再構築

同社では情報処理に関わるものづくり技術を活用し、デジタル検版システムの導入に取り組んだ。このデジタル検版に使用するソフトウェアは、専属担当者を置いて複雑な操作に習熟させなければ使用できないものは選定対象外とし、事前に各種処理パターンを自動化し、複数の作業者が容易に操作できるようにカスタマイズできるものを選んだ。

また、前工程の制作現場における変更データの検査、後工程の印刷現場の刷り出し印刷物の検査も含めた複合的な品質管理フローの再構築を目的に計画を進めた。

具体的成果

検版見落としによる事故ゼロへ

検版作業のデジタル技術の導入により、目視では1人で30分、ダブルチェックで合計1時間かかっていた作業も1分以内で処理が可能となり、作業時間は大幅に短縮できた。検査の品質においても、ベテラン作業員が複数回チェックした場合と何ら遜色はなく、むしろ、より精度の高い検査指摘を出ることが確認できた。検査精度の向上は目視の見落としによる印刷ミスの損紙の削減に大きく貢献するため、印刷工程の省資源化、省エネ化も推進されている。ちなみに、今期、同社において検版の見落としによる印刷事故は発生していない。

生産プロセスを刷新

こうして同社では、検査品質のムラをなくし、常に高精度な検査ができる品質管理体制を構築することができた。しかも、システムがチェックしたものをWチェックする作業員には熟練度は要求されない。このシステムの導入により生産プロセスを刷新し、コスト削減、短納期対応の促進、品質管理向上と印刷工程の省資源化によって、同業他社との差別化と競争力の強化を実現した。

今後の戦略

受注を1.2倍から1.5倍に

同社は商業印刷が主で、顧客には特に表記間違いが許されない医薬関連会社や、掲載商品をより美しく見せたい通販会社やメーカーなどがある。また、同業他社が顧客となるケースもあり、特に高品質・高精細印刷を提供し企画提案や品質保証を行っていく同社の方針において、生産プロセスを刷新して品質管理を強化する今回の補助金事業の成果は、顧客満足度の向上に大いに寄与するものと見ている。その結果、縮小傾向にある印刷業界においても、受注を1.2倍から1.5倍に高めることを想定している。

作業の内製化も視野に

同社ではデジタル検版システムの導入により、検版作業者の数を減らすことができることを確認している。削減した人的資源は別の仕事で活用することも視野に検討を進めている。また、検版作業自体の高速化についても実際に良い結果が現れていることから、これまでは繁忙期に外注に出していた仕事も内製化できるように体制を整えている。さらに今後は費用効果を上積みしていき、トラブル削減と省力化で効率を高め、新規顧客開拓にも力を注いでいく。

富士精版印刷 株式会社

代表取締役社長 吉賀(よしが) 文雄
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-4-33
TEL. 06-6394-1181 FAX. 06-6394-1199
資本金/95,175千円 従業員/150名
主な取引先/医薬品業界、通販業界、アパレル業界、
広告代理店業界、印刷業界など
主な保有設備/ハイブリッドUV菊半裁5色(4色)枚葉
印刷機、A横全判両面8色輪転印刷機、
B縦半裁両面8色輪転印刷機
主力製品/各種印刷・製版・製本、広告の企画・立案・
制作及びWeb制作、電子book制作

短納期 企画力 小ロット OK オンライン 生産 OK 海外 対応 試作 OK 連携力

商いは高利をとらず、
正直によき品を売れ。末は繁盛

代表取締役社長 吉賀 文雄

技術と信頼をベースにお客様、協力会社、地域から必要とされる会社になり、社員と共に会社の繁栄を創っていきます。そのためには、お客様とともに経営環境の変化に対応し、さらに変革と挑戦を行います。



取材を終えて

プロとしての矜持を見る

ネット広告の浸透とデジタル化で紙媒体の需要が減少していることに加え、低料金・短納期を売りにするネット通販型の印刷業者が増えており、同社では印刷物の品質だけでなく総合的サービスで顧客満足度を高めている。加えて環境対応にも力を入れており、独自技術で廃液を少なくできる印刷を提供するなど、積極的に活路を拓こうとしている。私たちが見失いがちなプロとしての矜持がこれらの動きの元になっているのではないだろうか。

<http://www.fujiseihan.co.jp/>